

平成 23 年 10 月 27 日

中国ブロック協議会 御中

JTU ジュニア強化委員
中国ブロック強化担当
小原 工

第 17 回日本トライアスロン選手権東京港大会帯同報告

1. 開催日時：平成 23 年 10 月 16 日（日）女子スタート 8：25 男子スタート 11：00
2. 開催場所：東京都・江東区 お台場海浜公園周辺
3. 気象条件：気温 23℃・水温 23℃
4. 参加人数：女子 45 名（完走 27 名）、男子 65 名（完走 39 名）
5. 競技距離：オリンピックディスタンス S1.5km B40km R10km
6. 結果：女子 優勝 井出 樹里（トーシンパートナーズ・チームケンズ）2：01：31

26 位 塩谷 寛子（鳥取県協会）2：19：41

DNF 二分 陽子（鳥取県協会）バイク 5 週目周回遅れ

男子 優勝 細田 雄一（グリーンタワー・稲毛インター）1：49：21

39 位 桶谷 祐輝（島根県協会）2：07：12

DNF 川端 大介（鳥取県協会）バイク 2 週目周回遅れ

DNF 山口 伸治（広島県協会）バイク 2 週目周回遅れ

○女子レース所感

今回のレースはいつもと違いトップ選手でスイムの速い足立真梨子、土橋茜子両選手、バイクの強いベテラン庭田清美選手が海外ワールドカップ出場のためこの大会には不参加だった。この選手らが不在でレースにどう影響するかも見所だ。

レース前には東日本大震災被害者への黙祷と岩城 JTU 会長からの東日本への熱いエールが送られ、レースが始まった。スイムは昨年の 500m×3 周回から従来の 750m×2 週回へと戻されていた。一人ずつ大歓声のなか紹介されスタート地点に立った選手たちはフォーンの合図で一斉にスタート。1 周目、初出場の塩谷が先頭集団後方の 7, 8 番目あたりと最高のポジションで上陸。二分は参加選手の後方に位置していた。そのままの流れで 2 週目も進み、塩谷はトップから 8 秒遅れの 20 分 18 秒と最高の位置でスイムアップ、二分は約 5 分遅れで苦しい展開になった。

バイクに入ると優勝候補の井出選手は第一集団を形成。もう一人の優勝候補、上田藍選手は第二集団を形成し約 30 秒の差で前を追う。塩谷は先頭集団に入れる位置だったが一人送れる。後ろから来る第二集団の選手たちにもあつという間に置いて行かれた。まだまだ経験不足。その後は第三集団に吸収されレースでは初の集団走ができていた。二分は後方から必死に前を追ったが 5 週目中盤で周回遅れとなった。一方、塩谷はしばらく第三集団でレースを進めたが、5 週目にすごい勢いで後ろから追ってきた大松選手が集団をバラバラに。塩谷はついていくことができず生き残る最終集団に吸収され、なんとかランへ。トップから周回遅れとなりながらも粘って走り 26 位で完走した。

二分選手はスイムの強化、塩谷選手はバイク・ランの強化が必要。来年に期待したい。

○男子レース所感

男子はトップ選手が集結。世界レベルにはまだまだ遠い男子だがスイムの力はレベルが高い。

レースは予想通り力のある細田、田山、山本、遠藤選手らが前を引っ張り集団は縦長となった。1周目、桶谷は20位前後で上陸。まずまずの位置で2週目へ。山口、川端は中々上陸してこない。気が付くと両選手はともに最後尾を泳いでいた。スイムアップは桶谷が20位あたり。山口、川端は完全に2人取り残された。先頭の遠藤選手が18分11秒で上陸する中、桶谷19分24秒、山口23分51秒、川端23分54秒でそれぞれがバイクに移った。桶谷選手は第2集団に位置。山口、川端は先頭交代し必死に逃げたが2周目の中盤で周回遅れとなりDNFとなった。

桶谷も塩谷同様、松丸選手が後ろからすごい勢いで追い付いてきたとき集団が割れ、後ろの第三集団と遅れてしまった。最終周、集団の中で一人がオーバーラン、桶谷選手は巻き込まれ、さらに遅れてしまう。ランはそのまま生き残った中の最下位でスタートしペースが上がらずそのまま39位でのゴールとなった。周回ごとにDNFが増え男子は参加65名中、39名しか完走できなかった。

昨年と同じことになるが、この結果から中国ブロックとしてはスイムの強化はもちろんのこと、泳力のある若い選手の発掘もさらに行っていく必要がある。日本選手権において男子は最低21分台の泳力がなければ戦えない。各ブロック代表選手たちはフルタイムで練習しているトップ選手たちに挑まなければならない。完走するのも難しいのが現状であるが、覚悟と練習内容、環境の工夫次第では上位も狙えるはずと思っている。

最後に中国ブロックへのご声援、誠にありがとうございました。大会会場にも足を運んでいただいた方々、遠くより応援いただいた方々に感謝申し上げます。これからも前を向き頑張っ参りますので応援よろしくお願いたします。